

ブルーダールは神奈フィルの応援マスコットです。

2014年10月16日発行
 発行・企画編集=神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局
 発行人・編集人=大石修治
 231-0004 横浜市中区元浜町2-13東照ビル3階
 電話 045-226-5045

Prelude

2014
10 | 16 木

Published by KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA © 2014

神奈川フィルハーモニー管弦楽団にとって、2014年は特別な年となりました。これまでの数年間、楽団の存続をかけて、神奈川県をはじめ、横浜市など33市町村、そして県内外の企業や多くの個人の皆様からたくさんの応援とあたたかい励ましの言葉をいただいていたいました。この長い危機と試練によってもたらされたものは、これまで多くの皆様から大きな力をいただき、かけがえのない成長を促すきっかけとなったことに間違いはありません。

神奈川フィルは公益財団法人となりました。 たくさんの応援ありがとうございました。

私たちは「地域に密着した音楽文化創造を使命に」を理念に、多くの皆様に感動のシーンをお届けし、これからの世代を担う子どもたちにも創造力と豊かな感性、そして人間性が心に育むように、音楽の種まきをしております。

今年度は、すでに4月の常任指揮者就任披露公演、6月の第300回記念定期演奏会でもその若くエネルギーあふれる姿をご覧いただきました川瀬賢太郎をはじめ、特別客演指揮者である小泉和裕、首席客演指揮者のサッシャ・ゲツェルの3人の強固な指揮者体制で、神奈川フィルのオーケストラとしての質の高さ、そして皆様にご納得いただける上質な音楽、心のこもった演奏をお届けしてまいります。

この特別な年のスタートが楽団にとって大きな応援の力を与えていただいたこと、感謝の気持ちを伝える機会になるよう、これからも神奈川フィルに引き続き厚いご声援をよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 理事長 平野 裕



ブルーダル基金の歩み

2010年 ◎署名活動実施
 約11万7千人からの応援署名が集まった



2011年 ◎「ブルーダル基金」スタート
 ◎「がんばれ!神奈フィル 応援団」発足
 ◎東日本大震災発生

各市役所ロビー等でのチャリティコンサート、「東北復興支援チャリティコンサート」(県民ホール)の開催により延べ5411名を動員し、約430万円を寄付

9月 ◎第1回ブルーダル基金コンサート開催(万国橋SOKO)以降、各地で基金コンサートを約50回実施



12月 ◎ブルーダル基金オンライン決済スタート
 ◎情報紙「Prelude」創刊(年3回発行)

2012年 ◎ファン感謝コンサート
 「明日への前奏曲」開催



6月 ◎ランドマークプラザでのオーケストラコンサートを開催(2回公演 約2000名)



7月 ◎大規模ブルーダル基金コンサート「響け、オーケストラ～音楽の絆～」(県民ホール)



9月 ◎「神奈フィル応援団 県議会議員の会」結成



2013年 ◎大規模ブルーダル基金コンサート「響け、オーケストラ～未来への旅立ち～」(パシフィコ横浜国立大ホール)(約2900名来場)

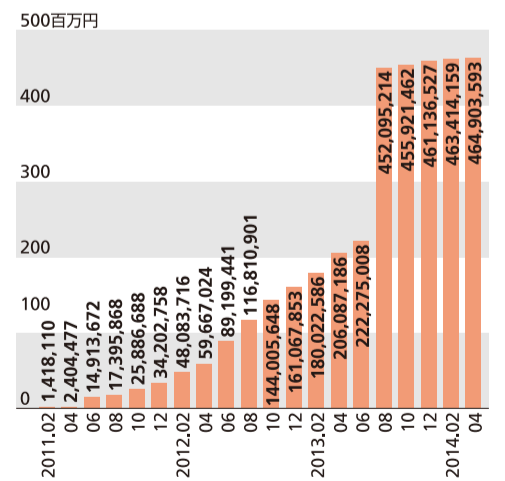


4月 ◎ロータリークラブの協力により「ブルーダル基金コンサート」を開催(県民ホール)

8月 ◎約3億円の債務超過が解消される
12月 ◎新公益法人への移行認定申請
 ◎審議会より答申が出される

2014年 公益財団法人への移行を果たす
4月

ブルーダル基金の推移



合計4億6490万3593円

個人(1億円突破) 121,143,202円
 法人(2億円目標) 143,760,391円
 マッチング(県) 100,000,000円
 マッチング(横浜市) 70,000,000円
 マッチング(県市長会、町村会) 30,000,000円

(2014年3月末時点)